

# 校内研修計画

山梨市立 八幡小学校

## 1 学校課題

八幡小学校は、果樹園に囲まれ豊かな自然環境に恵まれている。昔から本地区に住んでいる家庭が多く、学校教育への理解と関心は高い。また、家庭での児童の生活は比較的安定しており、「家庭が楽しい」と感じている児童が大多数である。しかし、就寝時刻が遅い、家庭学習の時間が少ないという実態が見られ、生活リズムの改善や自主的な学習への意欲の向上が求められる。

学習に関しては、興味や関心をもって進んで取り組もうとする児童が多いが、学力の個人差が大きく、基礎的な学習内容が理解できていない児童もいる。また、知識を活用する力や自分の考えを分かりやすく書いたり発表したりする力が身につけていない児童が多い。話を聞く態度や聴く力が十分に身につけていない児童も多く、対話的な学びを進めていく上での大きな課題となっている。主体的・対話的で深い学びの実現のために、児童の実態に応じた授業改善を進めていく必要がある。

## 2 研究主題

「生きる力を支える確かな学力の育成」～聴き合い 学び合う授業づくり～

## 3 主題設定の理由

本校の児童は、学校は楽しいと感じていたり、学校行事に一生懸命に取り組んだりする子どもたちが多く、学習についても真剣に取り組み、最後までやり遂げようと努力している姿が見られる。どの学年も単級で、学校生活の中で友達との関わりを学ぶことも多く、相手を思いやる気持ちをもった素直な子どもたちである。

しかし、児童による学校評価の結果から、「みんなのために役立っている」という意識が低い傾向にあり、自己肯定感の向上が課題である。やればできるという自信や、誰もが学級の大切な一員という自覚がもてる授業づくり・学級づくりを目指していく必要がある。

全国学力学習状況調査や県学力把握調査の結果からは、題意を捉えるための読解力や、課題の表現に対応した記述ができる表現力に、課題のある児童が多い。授業においては、自分の考えを持ってない児童や話を聞く態度・聴く力が十分に身につけていない児童がおり、発表する児童の固定化や、対教師の対話が多く児童同士の学び合いができていないという実状がある。

家庭学習については、取り組む時間や量の個人差が大きいという実態がある。自主学習につながる授業や主体的に学ぶ意欲を喚起するような課題提示の方法を考え、自らの意思で進んで学習する意識や態度を習慣化させていく必要がある。

「確かな学力」を育成するためには、確実な基礎的・基本的学習内容の定着と、それを基にした活用・探求する力を伸ばす授業づくりが不可欠である。次期学習指導要領では、「確かな学力」をバランス良く育てることを目指し、学級やグループで話し合い発表し合うなどの言語活動の充実とともに、課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習であるアクティブ・ラーニングの視点からの授業改善が期待されている。

本校でも「やまなしスタンダード」の7つの視点をふまえながら、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくりをすすめていきたい。そのためにはまず、主体的に「考え」しっかり「聴く」ことができる児童を育成し、それぞれの考えを教師が「つなげる」ことで「学び合う」授業を実現させることを目指し、この研究主題を設定した。

#### 4 研究の具体的内容と方法

##### ◇授業づくり

- ・「やまなしスタンダード」の2つの視点に基づいた授業改善
  - ②話し合い、討論、発表などの言語活動を効果的に取り入れている。
  - ③児童生徒は、他の人の話や発表に耳を傾けている。
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現（1人1実践授業を実施）

◇元センター研修員による「プログラミング教育研修会」や毎回の校内研での「情報交換」の場で、家庭学習・教科指導・学級づくり等の実践を発表し合い、研修を深めていく。

### 年間校内研修計画

研究主任 山元 和香子

月日(時期)		研究テーマ	教科領域等	担当者	学年	T・C要請
4月	10日	今年度の研究内容について		研究主任		
	17日	今年度の研究内容の決定 「きりっこノート」の内容確認		研究主任		
5月	15日	授業づくりの方向性・授業内容について	授業づくり	研究主任 授業者	1・4年	
	29日	プログラミング教育学習会①	学習会	畠山先生		
6月	19日	授業づくりに向けての学習会	授業づくり	研究主任・講師		○
7月	3日	1校1実践・1人1実践について 各研修会 還流報告〈1〉	情報交換	研究主任 ・担当者		
	10日	プログラミング教育学習会②	学習会	畠山先生		
8月	16日	教育課程還流報告 全国学力学習状況調査結果と授業改善について	情報交換	全員・ 教務主任		
9月	4日	授業案作成（含：1人1実践授業）	授業づくり	部会長 ・全員		
	11日	授業案作成（含：1人1実践授業）	授業づくり	授業者・ 部会長		
10月	2日	授業案検討・4学年	授業づくり	授業者・ 研究主任	4年	
	9日	授業案再検討・4学年	授業づくり	授業者・ 研究主任	4年	
	16日	全体授業研究会（4年）	授業づくり	授業者・ 研究主任	4年	○
	23日	授業案検討・1学年	授業づくり	授業者・ 研究主任	1年	
11月	13日	授業案再検討・1学年	授業づくり	授業者・ 研究主任	1年	
12月	4日	全体授業研究会（1年）	授業づくり	授業者・ 研究主任	1年	○
	11日	山梨北中ブロック公開授業研究会について プログラミング教育学習会③	学習会	研究主任 畠山先生	全学年	
1月	22日	授業づくりの実践報告 各研修会 還流報告〈2〉	情報交換	研究主任 ・担当		
	29日	研究紀要原稿作成について 山梨北中ブロック公開授業研究会(2/19)授 業案作成	研究のまとめ	研究主任 部会長 ・全員	全学年	
2月	26日	研究のまとめ・来年度の方向性	研究のまとめ	研究主任		
		研究紀要原稿作成				
3月	4日	研究集録編集作業	研究のまとめ	研究主任・全員		

